

朝日新聞

2016年(平成28年)

3月21日

月曜日

振り替え休日

天気	6	9	12	15	18	21時	
福岡	☀	☀	☀	☀	☀	☀	15 0
北九州	☀	☀	☀	☀	☀	☀	14 5
山口	☀	☀	☀	☀	☀	☀	16 2
大分	☀	☀	☀	☀	☀	☀	15 6
佐賀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	17 5
鹿児島	☀	☀	☀	☀	☀	☀	20 8
那覇	☀	☀	☀	☀	☀	☀	21 17
大阪	☀	☀	☀	☀	☀	☀	15 5
東京	☀	☀	☀	☀	☀	☀	13 7

遺品整理「人」と向き合おう

誰にもみとられずに亡くなる「孤立死」をした人などの持ち物を整理する「遺品整理」や、現場を原状回復する「特殊清掃」。近年、多くの業者が参入しているが、トラブルも少なくない。業界では昨年、業者18社で新団体をスタート。業界の健全化と質の向上をめざす取り組みも始まった。



遺品の中から見つかった写真を確認するスタッフ＝昨年11月、福岡県大野城市

が、15万円以内におさまった。別の男性が自殺した福岡市内のアパートの部屋は「ゴミ屋敷」と化していたが、母子手帳と卒業アルバムだけはきれいに保管されていた。作業を依頼したのは、男性の弟。そのことを伝えると、兄へのわたがまりが少し薄れたようだったという。「仕事への向き合い方で関係の紡ぎ直しもできる。遺品整理は物が相手の仕事ではないんです」。岩橋さんは話す。

参入増えトラブル多発 18社で新団体、相談業務も

「きちょうめん」「愛妻家」

福岡県大野城市の2階建てアパート。小雨が降る昨年11月末、2階の2DKの部屋で、3人の作業員が遺品を仕分けていた。

「には、病院の診察時間や亡き妻の月命日などが整った字で記されている。「きちょうめんだったんだな」「愛妻家だな」。作業員は、想像される人柄を話しながら手を動かしていた。その人を語り、記憶に刻むことが供養と考えるという。

タンスの引き出しも一つひとつ丁寧にみる。写真があれば分けておき、後日、供養に出す。この日は、仏壇の引き出しなどから複数遺品の遺書も見つかった。作業

を請け負った「友心」の岩橋ひろし社長(40)は「二人の人間が生活した場所。メッセージは必ずある。遺族の代わりに立ち会う気持ちでやっている」と言う。

徹底するのが、リュースとリサイクルだ。家具はむしろん、金属類や食器などは分別してリサイクルに出す。今回、一般ゴミとして出したのは、冷蔵庫の中の卵など45個のゴミ袋10袋程度。こうして得た収入の一部は費用から差し引く。男性の部屋の場合、見積も

り20万〜30万円だった。ニッセイ基礎研究所(東京)によると、死後2日以上たつて見つかる孤立死者は推計で年約3万人。未婚化や単身世帯の増加が背景にあり、こうした状況から遺品整理を掲げる業者が増え、トラブルも増加中だ。

遺品整理士の民間資格を認定する一般社団法人遺品整理士認定協会(北海道)によると、現在、業者は全国に約9千。特別な資格はいらず、葬儀社や産業廃棄物処理業者など、多様な業者が参入する。利用者から協会への相談は年々、増える傾向にある。多い月で30件。「作業後に高額請求された」「貴重品がなくなつた」といった相談が多いという。「亡父の形見の品もなく

なつてしまった」。2013年に父を亡くした米国在住の鈴木千代子さん(60)はそう憤る。「三重県にある亡父の家の片付けまで手が回らず、昨夏、ある業者に整理を頼んだ。見積もりは作業前日に出してもらったが、金額の根拠を尋ねても返事がなし。テレビなどを運び出す時に畳がこすれたため注意すると、怒つた作業員が、2トトラックに積んだ荷物を道路に投げ出した。時間を内に終わらず、契約を打ち切った。複数の別業者にあたり、再度依頼すると、「金目の物は全て持っていかれていく」と言われた。鈴木さんは「泣き寝入りしている消費

(山下知子)